

業 種	タクシー
取組分野	高齢者の活用
テ ー マ	人材不足に対応した高齢者の継続雇用と安全への取組
取組の狙い	タクシー乗務員として、安全運転を広めるロードリーダーたる模範運転を心がけ、交通秩序の確立と健全な車社会の確立に努め、人材確保のため高齢者の継続雇用と環境をつくる。
具体的内容	<p>1. 課題とこれまでの取組</p> <p>政和自動車株式会社（以下、「当社」という。）では、輸送の安全のためには人材確保が重要であると考えているが、新規採用が思うようにならず人材不足の問題を抱えている。このため人材確保のために、以下の取組みを行っている。</p> <p>① 60歳定年を迎える乗務員の継続雇用を推進し、定年後も健康状態に特に問題がなく、事故を起こしていない乗務員であれば、本人の希望により1年ごとに契約を更新して継続雇用している。</p> <p>② 新規採用者には祝い金と2年間の定額の賃金を保障することで定着率の向上につなげている。</p> <p>2. 課題解決に向けた取組（対策）</p> <p>乗務員の平均年齢が59歳を超え、安全輸送の観点、事故の未然防止の観点から高齢者の乗務員の健康への配慮は大切なことであり、また、交通事故の削減に向けた取組みは、乗務員のスキルアップと、会社のイメージアップにつながるものであるため、当社では、以下のような取組を行っている。</p> <p><u>（1）健康へ配慮した取組</u></p> <p>① 朝礼時には、ストレッチ体操を実施。</p> <p>② 定期健康診断及び検診の結果、異常等が見つかった場合の再検査は必ず受診させる。これらの検診結果は、社員の乗務継続の判断材料として活用。</p> <p>③ 乗務員の適性診断を3年おきに実施しているが、高齢者の乗務員はその間隔を狭めて年1回実施。</p> <p>④ 高齢者の乗務員には認知症チェックを年1回実施。</p> <p>⑤ 睡眠時無呼吸症候群（S A S）検査を乗務員全員に定期的に実施</p> <p><u>（2）スキルアップに向けた取組</u></p> <p>当社では、業務の一環として以下の取組みを行っている。</p>

- ① 月2回の研修において、小集団活動としてグループ討議等を実施する。この活動では、自社のドライブレコーダーの映像を含めた事故画像によるKYT（危険予知訓練）、なぜなぜ分析などを実施。
- ② 年間研修計画により、警察関係者、外部講師による特別集合研修を年1回以上実施。
- ③ ヒヤリ・ハット情報として体験事例を報告させ、その情報を共有化することで、事故の未然防止を実施。
- ④ 事故を起こした場合には、原因究明と再発防止策の検討を行うとともに、事故惹起者には、ベテラン社員による同乗指導を行い、必要に応じて個別研修の実施や自動車運転適性診断を実施。



小集団活動の様子



救命講習会の様子

取組の効果

社内での乗務員への健康管理を徹底することで、健康で働くことができる乗務員が増え、乗務員の健康への意識が高まった。各種の健康診断にも全員が参加し、健康起因による事故の未然防止に寄与している。

また、定期的な小集団活動による研修を積み重ねることで、乗務員同士のコミュニケーションが良くなり、職場の風通しの良さにつながっている。会社としては事故が起きたとき、その責任を追及するのではなく、原因の究明と再発防止に向けた活動をすることで、事故件数の減少につながっている。

当社では、以上のような活動を行うことで企業のスキルアップを図っているが、さらに次のような取組みを行うことで、お客様へのきめ細かいサービスを充実させ、会社のイメージアップを図りたいと考えている。

- ① 救命技能認定を乗務員全員が取得することで、送迎中のお客様の身に異常が起きた場合に落ち着いて対処できるようにする。
- ② 東京シティガイド検定を取得し、英語習得にも努めている。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは海外のお客様も増えるためきちんとした「おもてなし」をしたい。

事業者名

政和自動車株式会社

(連絡先：03-3888-3195)